

2026年1月1日

西神戸 YMCA 保育園 1月えんだより

1月聖句：「イエスは智恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された。」

＜ルカによる福音書 2章 52節＞

新年明けましておめでとうございます。2026年も皆様が健康に過ごせる一年となりますように心よりお祈り申し上げます。

今月の聖句はルカによる福音書 2章 41節からの「神殿での少年イエス」の最後の節になります。両親は故郷ナザレに戻る帰路の途中、イエスが集団の中にいるものと思っていたのですが、一日歩いて初めてイエスがいないことに気づいたのです。捜し回ったけれども見つからなかつたので、元のエルサレムの都に引き返すことになりました。そして両親が見つけたイエスは神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問したりしている姿でした。行方が分からなくなつた息子を捜していた母マリアは、「なぜこんなことをしてくれたのです。御覧なさい。お父さんもわたしも心配して捜していたのです」。と言つたところ、イエスは「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかつたのですか」と答えます。両親には主イエスが答えた言葉の意味が分からなかつたのです。子どもが成長して大人になる過程において、親でさえも理解ができないという戸惑いや寂しさがあったでしょう。ルカはそれを「これらのことすべて心に納めていた」とします。心に納めるとは、理解や分かることでなくとも言葉や教えを心に留め、それを大切に守り、思い巡らすことでもあります。これは主イエスをこの世に生まれさせたのは神のみであるという信仰そのものです。そして、最後の節の「イエスは智恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された」に繋がっていきます。

2026年という新しい年も、主イエスをこの世にお与えになった神のみです神さまを信じ、全てをゆだねていきたいと思います。

1月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	いっしょ／いっしょ	じっくりと／広がる
	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまに守られていることを感じ、安心して過ごす。 ・友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わろうとする。 ・「自分で」という意思が強くなり、やってみようとする。 ・神さまに愛され、自分の友だちも大切にされていることを感じ、喜ぶ。 ・冬の自然を感じながら体を使って楽しく遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスにお生まれになったイエスさまを身近に感じながら聖書のお話しを聞く。 ・伝承遊びや季節の遊びなどを通して、友だちとじっくり過ごすことを楽しむ。 ・空気や風、水などの冷たさ寒さを感じながら、戸外に出て自然の変化をみにつける。 ・友だちとアイデアを出しあい、遊びをひろげていくことを楽しみながら、じっくりと遊ぶ。 ・吐く息の白さ、空気の冷たさ、霜、氷、雪、木々の冬芽などから冬を五感で感じる。
讃美歌	つくしのよう/神様がわかるでしょ	神様がわかるでしょ